

速報

平成30年北海道胆振東部地震について

常任理事・救急医療部長 目黒 順一

9月6日(木)午前3時7分に発生した厚真町を震源とする震度7の地震は、周辺自治体が甚大な被害を受け、北海道電力苫東厚真発電所が被災したことにより、北海道全域がブラックアウトに陥りライフラインが途絶するなど、住民生活や医療機関の診療体制に大きなダメージを与えました。

お亡くなりになりました方々のご冥福をお祈りす

るとともに、被災された道民・会員の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

また、自らが被害に遭われながらも診療体制を維持し、地域医療を堅守されております会員各位には改めて敬意を表します。

発災直後、当会では長瀬会長を本部長とする災害対策本部を設置して道庁に職員2名を派遣し情報収集に努め、電力復旧の見通しに関する通知をはじめ、郡市医師会に対し随時情報発信するなどの対応に追われました。

地震翌日の7日には先遣JMATとして長瀬会長とともに小職と事務局職員が、震源地の厚真町を管轄する苫小牧市医師会と苫小牧市立病院に設置された現地DMAT活動拠点本部を訪れ、被災状況の把握と今後の対応方針などの確認を行い、北海道庁内に設置されたDMAT調整本部からの要請のもと、9月9日からJMAT 2班をむかわ町に派遣し活動を開始し、ニーズに応じて増隊しております。発災直後から9月13日現在までの対応状況について以下のとおり報告いたします。

9月6日(木)

3:07 地震発生
3:09 北海道が災害対策本部を設置
5:18 北海道医師会館に事務局1名到着
6:15 長瀬会長の指示により北海道医師会災害対策本部を設置
6:20 道庁、郡市医師会等に被災状況等を確認
8:21 日本医師会に北海道の被災状況等を報告
10:30 道医職員2名を道庁へ派遣し、医療機関等の被災状況等を情報収集
10:37 日本医師会に医療機関の被災状況等を報告
10:41 道庁から「道内の救急受入れ状況」について情報提供の依頼
11:54 日本医師会が災害対策本部を設置
13:00 「道内の救急受入れ状況」を道庁に報告

9月7日(金)

9:49 道外JMATの派遣要否等について日本医師会から検討するよう依頼
12:55 JMAT派遣要否について北海道DMAT調整本部と打ち合わせ(目黒常任理事出席)⇒正式に派遣要請を受ける
20:05 日本医師会が都府県医師会に対して道内へのJMAT派遣要請を通知
22:40 道医から郡市・医育機関医師会等へJMATの構成をFAXにて依頼

9月8日(土)

18:30 DMAT医療救護調整本部定時連絡会議に出席(むかわ町へJMAT2隊の派遣要請を受ける)

9月9日(日)

11:00 DMAT⇒JMAT(手稲溪仁会病院・勤医協中央病院)へ引継ぎの打ち合わせ
12:01 藤原副会長経由でJMATから派遣可能との連絡

9月10日(月)

8:45 北海道看護協会に、むかわ町鶴川厚生病院への看護師支援について相談
17:50 道外JMATが9/12から1チーム派遣可能と日本医師会から連絡

9月11日(火)

19:00 胆振東部地震「北海道医師会災害対策本部」第1回会議を開催

9月13日(木)

18:00 東胆振東部3町医療救護保健調整本部ミーティング(厚真町)に参加(目黒常任理事出席)

JMATの派遣状況(9月13日時点)

手稲溪仁会病院 第1班(医師1、看護師2、ロジ2) 9月9日(日)～11日(火)活動終了
手稲溪仁会病院 第2班(医師2、看護師2、ロジ2) 9月11日(火)～16日(日)
勤医協中央病院 (医師1、看護師1、薬剤師1、ロジ1) 9月9日(日)～15日(土)
北海道大学病院 (医師1、看護師1、薬剤師1、ロジ1) 9月11日(火)～16日(日)
旭川医科大学病院(日本静脈学会) 9月11日(火)～12日(水)活動終了
DORAT(医師1、理学療法士2) 9月11日(火)～18日(火) ※以後も継続活動を予定